

News Release

電気ストーブ等の電気暖房機器による火災及び ゆたんぽやカイロ等による低温やけどにご注意ください

NITE（ナイト）[独立行政法人製品評価技術基盤機構、理事長：辰巳 敬、本所：東京都渋谷区西原] は、平成 27 年 11 月 26 日（木）に本所ナイトスクエアにおいて、記者説明会を開催します。

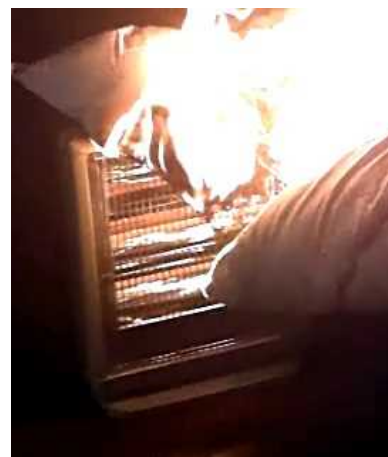
1. 電気ストーブ等の電気暖房機器やゆたんぽ、カイロ等による事故は、毎年 10 月頃から増加し、12 月～2 月にかけて最も多く発生しています。

NITE（ナイト）に寄せられた製品事故情報^{※1}において、電気ストーブ等の電気暖房機器やゆたんぽ、カイロ等による事故は、平成 22 年度～平成 26 年度までの 5 年間で合計 960 件^{※2}（死亡 28 件、重傷 59 件、軽傷 78 件、拡大被害^{※3}429 件、製品破損等 402 件）ありました。

2. 電気暖房機器やゆたんぽ、カイロ等の事故では、火災を伴う死亡事故や、長時間皮膚に接触したことで重度の低温やけどを負う事例等が発生しており、使用の際は注意が必要です。

[主な事故事例]

- 電気ストーブに可燃物を接触したことによって、製品及び周囲を焼損する火災が発生し、1 人が死亡した。
- 電気あんかの電源コードをまきつけて保管する等、繰り返しの負荷がかかったことによって電源コード付け根部分がショートして右足にやけど（重傷）を負った。
- ゆたんぽを長時間足に接触させて使用したため、低温やけど（重傷）を負った。



(写真)電気ストーブにふとんが接触して着火する様子

3. これらの事故を防ぐためには、「電気暖房機器の周囲に可燃物や可燃性ガスを含むものを置かない」「電気マットや電気毛布、ゆたんぽ、カイロ等を使用する際は、長時間同じ場所を温めない」等の使用時の注意や、「電源コードや電源プラグが異常に熱くなっていないか」「使用時に焦げくさい臭いや異音が生じていないか」等の事故の予兆に早めに気がつくことが重要です。

冬を迎え、暖房機器を使用する機会が増加する季節に際して、製品を正しく使用し、事故を未然に防止していただくため、今般、注意喚起を行うこととしました。

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大事故（ヒヤリハット情報（被害なし）を含む。）

(※2) 平成 27 年 10 月 30 日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

(※3) 製品本体のみの被害にとどまらず、周囲の製品や建物にも被害をおよぼすこと。

(1) 記者説明会開催概要



日 時：平成 27 年 11 月 26 日（木） 10:00～（開場 9:00～）

会 場：ナイトスクエア

（東京都渋谷区西原 2-49-10 NITE 1 階）

参加を希望される方は、平成 27 年 11 月 25 日（水）18:00 までに、「お問い合わせ先担当者」へご連絡ください。会場準備のために必要ですので、ご協力くださいますようお願いいたします。

[電車でお越しの場合]

1. 京王新線「幡ヶ谷」駅から徒歩約 10 分
2. 小田急線・東京メトロ千代田線「代々木上原」駅から徒歩約 15 分

(2) ご説明する内容

平成 22 年度から平成 26 年度までの 5 年間に発生した電気暖房機器やゆたんぽ、カイロ等の事故 960 件について、発生状況や傾向、事故事例、事故を防止するためのポイント等を、再現実験映像を交えてご紹介いたします。

また、当日は事故の再現実験映像、静止画を収録した DVD を配布いたします。



(写真)低温やけどを負った様子

(3) 当日入館時のご注意

NITE 本所（東京都渋谷区西原）では、入館管理システムとして、セキュリティゲートを導入しております。入退館の際は、受付にて発行する入館許可証が必要となりますので、お手数をおかけいたしますが、ご協力くださいますようお願いいたします。

入館時：受付で外来者用入館許可証をお渡ししますので、セキュリティゲートの読み取り部分にかざして入館してください。

退館時：入館許可証を受付に返却してください。

※ 庁舎内では、入館許可証を首からお掛けください

お問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター 所長 嶋津 勝美
担当：池谷、西澤

- 記者説明会前日（11 月 25 日）及び当日（11 月 26 日）
電話：03-3481-6566 FAX：03-3481-1870
- 記者説明会前々日まで及び翌日以降
電話：06-6942-1113 FAX：06-6946-7280